

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第61期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	ジオマテック株式会社
【英訳名】	GEOMATEC CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松崎 建太郎
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
【電話番号】	(045)222-5720
【事務連絡者氏名】	執行役員経理財務部長 河野 淳
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
【電話番号】	(045)222-5720
【事務連絡者氏名】	執行役員経理財務部長 河野 淳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第1四半期連結 累計期間	第61期 第1四半期連結 累計期間	第60期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	2,278,216	2,449,489	9,821,319
経常利益(千円)	97,614	306,909	886,577
四半期(当期)純利益(千円)	93,346	302,839	845,845
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	126,955	485,061	1,118,185
純資産額(千円)	16,549,680	17,274,530	17,415,170
総資産額(千円)	24,980,033	26,020,116	26,384,061
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	11.13	36.81	100.90
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	66.3	66.4	66.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策の方針転換や新政権の経済政策期待から、円高の是正や株価の回復など景況感に明るい兆しが見られましたが、欧州債務問題の長期化や新興国経済の減速が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループの主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ（FPD）市場は、スマートフォン、タブレット関連機器が需要を牽引し堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は、24億49百万円（前年同期比7.5%増）となりました。損益につきましては、中国子会社の収益が改善したことなどから、営業利益は2億97百万円（前年同期比222.7%増）、経常利益は3億6百万円（前年同期比214.4%増）、当期純利益は3億2百万円（前年同期比224.4%増）となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。なお、当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、品目別に記載しております。

（FPD用基板）

FPD用基板につきましては、当社グループの主力製品である液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜が、スマートフォン、タブレット端末及びカーナビゲーション向けで需要が安定していることから概ね堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は17億60百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

なお、売上高減少の主な要因は、外注加工を必要とする製品の販売額が減少したことによるものであり、当該要因を除いた当社グループの実質的な加工賃収入は前年同期比9.0%増加しております。

（光学機器用部品）

光学機器用部品につきましては、プロジェクター向け光学部品が大手プロジェクターメーカーの事業縮小により低調な推移となりましたが、その他の光学部品や光学薄膜製品へ販売活動を展開したことにより概ね堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は2億40百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

（その他）

その他につきましては、スマートフォン向け加飾膜やマスクブランクス向け薄膜などとともに、その他薄膜製品の販売活動に取り組みました。

この結果、売上高は4億48百万円（前年同期比67.4%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の財政状態を前連結会計年度末と比較すると、総資産が3億63百万円、純資産が1億40百万円それぞれ減少し、自己資本比率は66.4%となりました。

増減の主なものは、流動資産では、現金及び預金が3億66百万円、受取手形及び売掛金が3億38百万円それぞれ減少し、純資産では、自己株式が4億99百万円増加しました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1億17百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,600,000
計	21,600,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,152,400	同左	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,152,400	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～	-	9,152,400	-	4,043,850	-	8,297,350
平成25年6月30日						

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 769,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,381,000	83,810	-
単元未満株式	普通株式 1,700	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,152,400	-	-
総株主の議決権	-	83,810	-

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。
2. 直前の基準日（平成25年3月31日）の後、当第1四半期会計期間末日までの期間に自己株式472,300株を取得したことにより、当第1四半期会計期間末日現在の完全議決権株式(自己株式等)は1,242,000株となっております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ジオマテック株式会社	神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1	769,700	-	769,700	8.40
計	-	769,700	-	769,700	8.40

- (注) 直前の基準日（平成25年3月31日）の後、当第1四半期会計期間末日までの期間に自己株式472,300株を取得したことにより、当第1四半期会計期間末日現在の自己名義所有株式及び所有株式数の合計は、それぞれ1,242,000株となっております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,182,997	6,816,189
受取手形及び売掛金	1, 2 7,608,297	1, 2 7,269,426
有価証券	1,752,788	1,752,835
商品及び製品	2 146,766	121,064
仕掛品	157,989	2 281,584
原材料及び貯蔵品	2 900,452	2 933,329
その他	105,046	86,675
貸倒引当金	2,275	2,218
流動資産合計	17,852,062	17,258,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,612,836	1,606,050
機械装置及び運搬具(純額)	3 2,327,309	3 2,253,683
土地	2,340,673	2,340,673
その他(純額)	601,522	886,251
有形固定資産合計	6,882,342	7,086,660
無形固定資産	56,631	70,065
投資その他の資産		
投資有価証券	828,598	865,508
その他	764,574	739,141
貸倒引当金	147	147
投資その他の資産合計	1,593,024	1,604,503
固定資産合計	8,531,998	8,761,229
資産合計	26,384,061	26,020,116

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 4,677,326	2 4,632,142
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	939,255	884,436
未払法人税等	57,311	14,118
賞与引当金	194,027	92,759
役員賞与引当金	12,000	-
その他	674,896	922,738
流動負債合計	6,604,816	6,596,194
固定負債		
長期借入金	1,818,202	1,633,294
退職給付引当金	271,497	282,151
役員退職慰労引当金	252,095	211,660
その他	22,279	22,286
固定負債合計	2,364,073	2,149,392
負債合計	8,968,890	8,745,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,043,850	4,043,850
資本剰余金	8,297,350	8,297,350
利益剰余金	5,857,123	6,034,223
自己株式	811,124	1,311,086
株主資本合計	17,387,199	17,064,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,808	124,448
為替換算調整勘定	58,837	85,744
その他の包括利益累計額合計	27,971	210,193
純資産合計	17,415,170	17,274,530
負債純資産合計	26,384,061	26,020,116

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	2,278,216	2,449,489
売上原価	1,753,496	1,687,636
売上総利益	524,720	761,852
販売費及び一般管理費	432,555	464,451
営業利益	92,164	297,400
営業外収益		
受取利息	7,568	5,722
受取配当金	4,741	4,855
不動産賃貸料	6,238	3,650
保険解約返戻金	-	5,652
その他	9,777	6,811
営業外収益合計	28,324	26,691
営業外費用		
支払利息	7,365	5,580
為替差損	8,862	7,390
不動産賃貸費用	4,053	756
その他	2,593	3,455
営業外費用合計	22,874	17,182
経常利益	97,614	306,909
特別損失		
投資有価証券評価損	1,201	-
特別損失合計	1,201	-
税金等調整前四半期純利益	96,412	306,909
法人税、住民税及び事業税	2,675	4,054
法人税等調整額	391	15
法人税等合計	3,066	4,069
少数株主損益調整前四半期純利益	93,346	302,839
四半期純利益	93,346	302,839

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	93,346	302,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,870	37,639
為替換算調整勘定	91,479	144,581
その他の包括利益合計	33,609	182,221
四半期包括利益	126,955	485,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,955	485,061
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日の満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当第1四半期連結会計期間末日は金融機関の休日であったため、次の満期手形が当四半期連結会計期間末日の残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	6,375千円	875千円

- 2 取引先からの有償支給材料に係る代金相当額が次の科目に含まれております。なお、有償支給材料代金は、「売上高」及び「売上原価」から控除して表示しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
売掛金	3,825,834千円	3,570,218千円
製品	7,729	-
仕掛品	-	101,275
原材料	112,780	152,465
買掛金	3,952,370	3,836,646

- 3 国庫補助金等により取得した資産について取得価額から控除している圧縮記帳額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
機械装置	130,000千円	130,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	225,392千円	200,667千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	125,740	15	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	125,740	15	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年5月17日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することについて決議し、自己株式を472,300株取得いたしました。これにより、当第1四半期連結会計期間末において、自己株式が499,961千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、真空成膜関連製品等の製造、販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略していません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円13銭	36円81銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	93,346	302,839
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	93,346	302,839
普通株式の期中平均株式数(株)	8,382,668	8,226,331

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 8日

ジオマテック株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	北方 宏樹 印
--------------------	-------	---------

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山本 千鶴子 印
--------------------	-------	----------

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているジオマテック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ジオマテック株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。